



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー
 コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 本山 佐一郎
 (氏名) 金子 壮太郎

TEL 03-3210-1230

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	1,330	20.2	92	△9.8	92	△19.8	56	△8.1
27年9月期第1四半期	1,107	20.0	102	42.9	114	60.9	61	18.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	9.93	—
27年9月期第1四半期	10.80	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
28年9月期第1四半期	3,089		1,745	56.5			305.40	
27年9月期	2,944		1,816	61.6			317.96	

(参考)自己資本 28年9月期第1四半期 1,744百万円 27年9月期 1,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
27年9月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年9月期	—				
28年9月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	15.2	500	5.0	500	1.5	300	48.9	52.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期1Q	5,712,000 株	27年9月期	5,712,000 株
28年9月期1Q	— 株	27年9月期	— 株
28年9月期1Q	5,712,000 株	27年9月期1Q	5,712,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記の予想数値に関する事項につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府や日銀による経済政策・金融緩和の効果により、企業業績や雇用情勢の改善等、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中小企業における賃上げの遅れによる個人消費の不振、海外経済の不確実性は依然として懸念されております。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、業績回復に伴う製造業界各社の研究開発費の増額等、力強く推移しております。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においてはインフラ整備等による投資の増額及び人材不足が深刻化しており、今後も堅調に推移する見通しとなっております。

このような事業環境の下、採用・教育面については、若い未経験人材や外国人技術者を積極採用し、研修センターを新規開設する等若い未経験人材を業界の次世代を担うエンジニアに育成する体制を整えている一方、中期経営計画目標である年間500名採用達成に向け採用コストが増加しております。

営業面については、顧客の要望に即したエンジニアを迅速にマッチングする等付加価値の高い人材サービスを提供するとともに、効率化、収益力強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高1,330百万円(前年同四半期比20.2%増)、営業利益92百万円(前年同四半期比9.8%減)、経常利益92百万円(前年同四半期比19.8%減)、四半期純利益56百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は3,089百万円(前事業年度末は2,944百万円)となり144百万円増加いたしました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は2,463百万円(前事業年度末は2,344百万円)となり118百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は626百万円(前事業年度末は600百万円)となり25百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券及び有形固定資産の増加によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債の残高は1,344百万円(前事業年度末は1,128百万円)となり215百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は1,080百万円(前事業年度末は864百万円)となり215百万円増加いたしました。

主な要因は、短期借入金200百万円及び未払費用62百万円その他負債162百万円の増加、未払法人税等116百万円及び賞与引当金62百万円の減少によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は263百万円(前事業年度末は263百万円)となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は1,745百万円(前事業年度末は1,816百万円)となり70百万円減少いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金56百万円の増加、配当金142百万円支払いによる減少、その他有価証券評価差額金15百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績につきまして、現時点では、平成27年10月30日に公表いたしました内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間から適用し、取得関連費用を発生した事業年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期会計期間の四半期財務諸表に反映させる方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な扱いに従っており、当第1四半期会計期間の期首時点から将来に渡って適用しております。

なお、当第1四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響額はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,490,255	1,629,467
受取手形及び売掛金	649,059	666,561
その他	204,981	167,204
貸倒引当金	△66	△67
流動資産合計	2,344,230	2,463,165
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	17,539	25,282
工具、器具及び備品(純額)	8,699	13,970
有形固定資産合計	26,238	39,253
無形固定資産	14,747	13,501
投資その他の資産		
投資有価証券	508,942	525,242
敷金及び保証金	47,458	45,566
その他	3,050	2,540
投資その他の資産合計	559,451	573,348
固定資産合計	600,437	626,103
資産合計	2,944,667	3,089,268
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	40,350	52,991
未払費用	284,073	346,993
未払法人税等	122,332	5,380
未払消費税等	135,500	92,924
賞与引当金	149,537	86,638
その他	72,807	235,171
流動負債合計	864,601	1,080,100
固定負債		
長期借入金	45,000	35,000
退職給付引当金	218,189	227,321
その他	712	1,623
固定負債合計	263,902	263,945
負債合計	1,128,503	1,344,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	869,650	869,650
資本剰余金	346,606	346,606
利益剰余金	641,768	555,678
株主資本合計	1,858,024	1,771,935
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△42,669	△27,519
評価・換算差額等合計	△42,669	△27,519
新株予約権	807	807
純資産合計	1,816,163	1,745,223
負債純資産合計	2,944,667	3,089,268

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,107,401	1,330,714
売上原価	833,695	996,502
売上総利益	273,706	334,212
販売費及び一般管理費	171,085	241,649
営業利益	102,620	92,563
営業外収益		
受取利息	418	12
受取配当金	3,016	—
賞与引当金戻入額	9,230	—
その他	568	473
営業外収益合計	13,233	485
営業外費用		
支払利息	619	548
債権売却損	295	304
その他	—	20
営業外費用合計	915	873
経常利益	114,938	92,175
特別損失		
固定資産除却損	2,393	—
特別損失合計	2,393	—
税引前四半期純利益	112,545	92,175
法人税、住民税及び事業税	11,094	3,281
法人税等調整額	39,756	32,183
法人税等合計	50,851	35,464
四半期純利益	61,693	56,710

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	957,978	149,423	1,107,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	957,978	149,423	1,107,401
セグメント利益	97,236	5,384	102,620

(注) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当社は、平成26年10月1日付で当社を存続会社、株式会社ユニテックソフトを消滅会社とする吸収合併をいたしました。この結果、のれんが発生しておりますが、金額が僅少であるため「エンジニアアウトソーシング事業」「N&Sソリューション事業」セグメントにおいて、発生時の費用として当第1四半期累計期間で一括償却しております。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,167,037	163,677	1,330,714
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,167,037	163,677	1,330,714
セグメント利益	84,043	8,519	92,563

(注) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。